

## 関 勝

### 1 著書

- 1) 関 勝. パーキンソン病実践診療マニュアル改訂第2版. 中外医学社, 東京、2018
- 2) 関 勝. リハビリテーション医学 (改訂第4版). 南江堂, 東京、2018
- 3) 関 勝. M2Plus 電子書籍版・パーキンソン病・実践診療マニュアル第2版.  
(<http://www.ebookstore.m2plus.com/>) 中外医学社, 東京、2019

### 2 学術論文

- 1) Seki M. Orthotic treatment for rheumatoid arthritis. Clinical Rehabilitation 27, 326-333, 2018

### 4 学会等での活動

- 1) 日本リハビリテーション医学会 2018 年度代議員総会, 福岡
- 2) 日本リハビリテーション医学会 2019 年度代議員, 宮城
- 3) 第 55 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (福岡) プログラム委員 (2018)
- 4) 第 55 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (福岡) 演題査読委員 (2018)
- 5) 第 56 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (神戸) プログラム委員 (2018)
- 6) 第 55 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (神戸) 演題査読委員 (2019)
- 7) 第 20 回三浦半島リウマチトータルケア懇話会・世話人会 (2018), 神奈川
- 8) 第 21 回三浦半島リウマチトータルケア懇話会・世話人会 (2019), 神奈川
- 9) 第 30 回三浦半島リウマチ懇話会・世話人会 (2018), 神奈川
- 10) 第 84 回神奈川リハビリテーション研究会・幹事 (2018), 神奈川
- 11) 第 85 回神奈川リハビリテーション研究会・幹事 (2019), 神奈川
- 12) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会専門医・特別試験委員 (2019), 東京

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) Progress in Rehabilitation Medicine Editorial Reviewer
- 2) ICME (institute of complex medical engineering) councilor
- 3) Disability Rehabilitation: Journal Editorial Reviewer
- 4) JJCRS: Editorial Board
- 5) 厚生労働省 (公益財団法人柔道整復研修試験財団) 国家試験委員会委員
- 6) 横須賀市介護保険認定審査会合議体長
- 7) 横須賀市介護保険認定審査会委員
- 8) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・代議員 (2018 年度再選)
- 9) 第 55・56 回日本リハビリテーション医学会学術集会委員 (プログラム・査読等)
- 10) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 11) 公益社団法人日本リハビリテーション医学会・専門医試験委員会特別委員
- 12) 慶應医学会オフィシャルメンバー

- 13) 日本リハビリテーション医学会・リハ基礎医学 SIG メンバー
- 14) 日本リハビリテーション医学会・脊髄障害 SIG メンバー
- 15) 神奈川リハビリテーション研究会・幹事

## 6 学内教育活動

- 1) 2018 年度神奈川県立保健福祉大学オリエンテーション実施
- 2) 2018 年度教員選考面接担当
- 3) 2018 年度入学試験各業務・入試関連会議委員
- 4) 2018 年度入学式・卒業式・全学謝恩会
- 5) 2018 年度全担当科目講義視聴覚教材製作・科目責任者

以下担当科目

(全学) ヒューマンサービス論 I

ヒューマンサービス総合演習 (発表会総評)

(看護) 疾病と治療 I

疾病と治療 II

疾病と治療 III

病態治療学

(栄養) 臨床医学概論

(社福) リハビリテーション論

人体の構造と機能および疾病

(リハ) リハビリテーション概論

リハビリテーション医学

神経内科学

脳神経外科学

整形外科学 I

整形外科学 II

内科学 I

内科学 II

一般臨床医学

人間発達学

- 6) 2018 年度国家試験講座講師

社会福祉学科 ; 国家試験対策・受験対策講座講師担当

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 総務企画委員会委員
- 2) 学科長会議委員
- 3) 学長補佐会議委員
- 4) 教育研究審議会委員
- 5) 合同会議 (役員会・経営審議会・教育研究審議会) 委員
- 6) 高大接続検討グループ会議委員

- 7) COI 委員会委員
- 8) 大学の在り方会議
- 9) 地域貢献研究センター運営会議委員
- 10) 入試判定委員会委員
- 11) 教員任期委員会委員
- 12) 教員選考委員会委員長および委員
- 13) 教員昇任審査委員会委員
- 14) 人総学外招聘非常勤講師選考
- 15) 人総学科内専任教授会議長
- 16) 人総学科会議議長
- 17) 人総学科内各 WG 委員長
- 18) 人総親睦会（E 会）監査
- 19) その他学事等関連会議委員

## 8 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師（スポーツマネジメント専攻）
- 2) 日本リハビリテーション医学会代議員
- 3) 日本リハビリテーション医学会・学術部委員
- 4) 日本リハビリテーション医学会・専門医試験委員会特別委員
- 5) 地域リハビリテーション連絡会世話人
- 6) 三浦半島リウマチ懇話会理事
- 7) 三浦半島リウマチトータルケア懇話会世話人
- 8) 横浜 YMCA 学院非常勤講師（リハビリテーション医学）
- 9) 日本医療科学大学非常勤講師（リハビリテーション医学）
- 10) 日本福祉教育専門学校・言語聴覚療法学科非常勤講師（リハビリテーション医学）
- 11) 慶應義塾大学病院・立川病院・その他国公立病院および医院等からのコンサルテーション等連携実践

## 13 特許など

- 1) 日本リハビリテーション医学会専門医更新（2019）
- 2) 日本リハビリテーション医学会認定臨床医更新（2019）
- 3) 日本体育協会公認スポーツドクター更新（2018）

## 金 龍 哲（大学院研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 金龍哲. 問われる他者へのまなざし—文化多様性の保全に寄与する教育研究の課題. 『アジア教育文化レビュー』 2019 ; 1 : pp.1-2.
  - 2) 金龍哲. 共生社会論の諸相とその系譜—共生は如何なる論理で語られてきたか. 『日本語文化研究』（第五輯下） 2019 ; pp.399-408

### 4 学会等での活動

- 1) 金龍哲. 宗教的職能者の育成を目指した村立学校のその後—プミ族の試みが示唆する“第三の道”の可能性、日本文化人類学会第 52 回研究大会（弘前大学 2018 年 6 月 3 日）
- 2) 金龍哲. 言葉の消滅危機を宣告された人たち—自文化へのまなざしはどう変わったか、第一回東アジア日本学研究国際シンポジウム（中国・魯東大学 2018 年 9 月 15 日）
- 3) 金龍哲. 中国西南における宗教的職能者育成システムの再構築—文化多様性の視点から見たプミ族の事例、アジア教育学会第 13 回研究大会（早稲田大学 2018 年 11 月 24 日）

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 中日教育研究協会 理事・会長
- 2) 東アジア日本学研究学会 常任理事・企画委員長
- 3) 『中日教育論壇』編集委員
- 4) 21 世紀日本教育研究叢書編集委員会 副編集長

### 6 学内教育活動

- 1) 学部担当科目  
教育原論、現代教職論、教職総合演習、教職実践演習、中国語（応用）
- 2) 実践教育センター  
教育本質論（看護・介護教員養成コース）  
教育原理（看護実習指導者養成教育コース）  
教育原理（介護実習指導者養成教育コース）  
ヒューマンサービス論
- 3) 大学院  
ヒューマンサービス特論（修士課程）  
対人援助特論（博士課程）  
保健福祉人材育成論（博士課程）

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 教員免許更新講習会運営委員
- 2) 自己評価委員会委員
- 3) 地域貢献研究センター長
- 4) FD 委員会委員
- 5) ボランティアセンター顧問、UDKS 顧問、社会人学生会顧問、
- 6) 神奈川県立保健福祉大学同窓会顧問

## 8 社会貢献

- 1) 教員免許更新講習会講師（2008～）
- 2) 神奈川県薬剤師現職教育外部評価委員会副委員長（2017～）
- 3) 日本教科書研究センター特別研究員（2016～）
- 4) 海外教科書調査委員（2018～）

## 9 講演，放送

- 1) 金龍哲. 大学にとって地域貢献とは何か. ヒューマンサービス公開講座（神奈川県立保健福祉大学 2018 年 5 月 26 日）
- 2) 金龍哲. 「高齢化社会」という実像と虚像—リンダ・グラットンの『LIFE SHIFT—100 年時代の人生戦略』を読む（三原市大和町 2018 年 11 月 4 日）

## 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金「中国西南における少数民族の文化伝承の実践に伴う教育のシステム変容に関する研究」【研究代表者：金龍哲 2018—2020 年】

## 14 その他

- 1) 科研「中国西南における少数民族の文化伝承の実践に伴う教育のシステム変容に関する研究」の一環として、以下の現地調査を実施。
  - (ア) 八丈島の保存・継承に関する調査（八丈島 2018 年 8 月 21 日—25 日）
  - (イ) 四川省社会科学院研究者との研究協議、雲南省（落水村、永寧中学、寧浪民族小学、プミ族文化保護協会）、貴州省威寧県（イ文双語学校）において現地調査を実施（2018 年 8 月 27 日—9 月 17 日）。
  - (ウ) 広島県大和町「神殿入」の現地調査（大和町 2018 年 11 月 3—4 日）
  - (エ) 三浦ユネスコ文化遺産チャッキラコの保存に関する調査（第一回：三浦市役所文化スポーツ課 2018 年 12 月 6 日、第 2 回：海南神社 2019 年 1 月 15 日、第三回：仲崎会館 2019 年 2 月 8 日、第 4 回：三崎小学校 2019 年 3 月 8 日）
- 2) 中日平和友好条約 40 周年記念フォーラム「中日教育交流を振り返る」を主催（東京 2018 年 9 月 29 日）

## 津田 学（大学院研究科兼務）

### 6 学内教育活動

- 1) 生物学概論
- 2) 細胞生物学（栄養学科）
- 3) 細胞生物学（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
- 4) 生物学基礎実験（栄養学科）
- 5) 生物学基礎実験（看護学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科）
- 6) 分子生物学
- 7) 文献検索とクリティーク
- 8) バイオテクノロジー基礎実験

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会 委員長
- 2) カリキュラム委員会
- 3) 動物実験専門部会 部会長

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成B（奨励研究）水中における簡便な高選択的生体関連分子検出法の開発に関する研究 佐竹弘行、津田学 364千円

## 生田 倫子(大学院研究科兼務)

### 4 学会等での活動

- 1) 「ブリーフセラピーの立場から見るこれからの臨床心理」日本心理臨床学会第38回大会シンポジウム 2018.
- 2) 「ベイトソン入門」日本ブリーフセラピー協会第10回大会

### 5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室，企画分析会議委員，分析会議委員として，青少年のインターネット利用環境の実態調査を行っている。2009年4月～現在
- 2) 平成30年度国家公務員採用総合職試験（人間科学）試験専門委員 2017年7月1日から現在
- 3) 日本心理臨床学会，広報誌編集委員，広報編集委員として，学会の広報業務を行っている。2012年12月～現在
- 4) 日本心理臨床学会，支援活動委員，支援活動委員として，震災復興支援に関する調査やプログラムの作成を行っている。2013年12月～現在
- 5) 日本家族心理学会，常任理事，編集委員。常任理事会に，年7回出席し，学会運営業務を行っている。2007年6月～現在
- 6) The International Academy of Family Psychology, Secretary, Board. (国際家族心理学会，事務局長，常任理事。)事務局長として，学会の運営業務を行っている。2011年8月～現在
- 7) 日本ブリーフセラピー協会，常任理事。常任理事会に，年6回出席し，学会運営業務を行っている。2007年4月～現在

### 6 学内教育活動

#### 1) 学部

心理学，発達心理学，人間発達学，教育心理学，ボランティア市民活動論，文献検索とクリティーク，養護教諭過程教職実践演習，養護教諭過程総合演習，ヒューマンサービス総合演習，保健医療福祉論。

#### 2) 大学院

コンサルテーション論（博士課程前期）  
対人援助特論（博士課程後期）

#### 3) 実践教育センター

認定看護管理者教育課程『人的資源活用論』

教員・教育担当者養成課程（介護・看護）「教育心理」

4) その他

国際ボランティアサークル「アナーコット」顧問  
ボランティアサークル「スカイキッズ」顧問  
オープンキャンパス担当

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員
- 2) 教員免許更新講習会運営委員
- 3) ヒューマンサービス研究会世話人

8 社会貢献

- 1) 神奈川県養護教員免許更新講習講師
- 2) 神奈川大学大学院非常勤講師『学校臨床心理学特論』
- 3) 北海道医療大学大学院非常勤講師『家族心理学特論』
- 4) 日本ブリーフセラピー協会学術会議第10回大会大会長
- 5) 龍谷大学学位（課程博士）審査委員

9 講演・放送

- 1) 東京都看護協会 熟達看護教員ブラッシュアップ研修講師
- 2) 特別区職員研修所 平成28年度専門研修「中堅保育士」講師
- 3) 第三管区海上保安本部 ハラスメント防止講習会講師
- 4) 短期療法を学ぶ会福島 研修講師
- 5) 隠岐の島受け入れ態勢強化事業 クレーム対応研修講師

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

基盤研究 C 問題解決力を持つ家族システムの解明ー統合情報理論の家族システム理論への応用



## 木村 芳滋 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 木村芳滋, 金子朋未 (2018) 「脱グルタミン酸化」生体の科学 69.(5) pp.480-481

### 2 学術論文

- 1) Kimura Y, Tsutsumi K, Konno A, Ikegami K, Hameed S, Kaneko T, Kaplan OI, Teramoto T, Fujiwara M, Ishihara T, Blacque OE, Setou M. (2018) Environmental responsiveness of tubulin glutamylation in sensory cilia is regulated by the p38 MAPK pathway. *Sci.Rep.*30;8(1):8392.

### 4 学会等での活動

- 1) 第 70 回日本細胞生物学会・第 51 回日本発生生物学会合同大会 6 月 6 日(水) 会場: タワーホール船堀(東京都江戸川区) 演題「Environmental responsiveness of tubulin glutamylation in sensory cilia is regulated by the p38 MAPK pathway」口頭発表.
- 2) EMBO Workshop: *C. elegans* development, cell biology and gene expression 6 月 13 日(水) 会場: ワールドトレードセンター(バルセロナ, スペイン) 演題「Application of Imaging mass spectrometry for *C. elegans*」口頭発表.
- 3) 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術総会 3 月 28 日(木)会場: 朱鷺メッセ(新潟) 演題「質量分析イメージング法(IMS)を応用した線虫 *C.elegans* の構造解析」シンポジスト

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本マスマスペクトル学会評議員
- 2) ISO/TC201 WG4(国際標準化機構・表面化学分析技術委員会・バイオ作業部会) 主査
- 3) 日本学術振興会マイクロビームアナリシス第 141 委員会 委員

### 6 学内教育活動

- 1) 特別聴講生受入 1 名 「体のしくみ II」

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会委員長
- 2) 研究倫理委員会委員
- 3) 大学院入試委員会委員
- 4) 入学者選抜作問審査委員

### 8 社会貢献

- 1) 第 14 回ヒューマンサービス公開講座(春) 本学講堂 司会 5 月 26 日(土)
- 2) 第 14 回ヒューマンサービス公開講座(秋) かながわ県民センター 司会 10 月 20 日

(土)

- 3) 県立横須賀高校 SHH 事業 横須賀高校担当教諭と本学担当教諭との調整
  
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
  - 1) 木村芳滋 「質量分析イメージング法による線虫 *C.エレガンス*のシングルセルレベル脂質マッピング」科学研究費 基盤研究(C) 交付金額 総額 494 万円, 2016～2018 年度.
  
- 11 学内研究助成金の受託
  - 1) 研究助成 B (奨励研究)「線虫 *C.エレガンス*を用いた質量分析イメージング法による生体分子の可視化の試み」配分額: 331,349 円.
  
- 14 その他
  - 1) 国際共同研究  
Abdullah Gül 大学 (トルコ) Oktay Kaplan 博士 「線虫の細胞内輸送解析」  
アイルランド国立大 Oliver Blacque 准教授 「線虫のチューブリン翻訳後制御解析」  
コロンビア大学(米国)Martin Chalfie 教授 「線虫運動ニューロンの IMS 解析」
  
  - 2) 国内共同研究  
浜松医科大学 瀬藤光利教授 「線虫の質量分析イメージング」  
成蹊大学理工学部 青柳里果教授 「線虫の TOF-SIMS 解析」  
東京大学薬学部 浦野泰照教授 「線虫 IMS 解析に用いるマーカーの開発」  
アルバックファイ株式会社 「高解像度質量分析イメージングによる線虫 *C.エレガンス*の細胞構造解析」

## 福田 平（大学院研究科兼務）

### 3 研究報告書

- 1) 福田 平「高齢者における生活習慣病関連調査、血液検査－高齢者におけるアルドステロン・レニン比の調査－」、神奈川県立保健福祉大学「高齢者における健康維持増進のための総合的追跡研究平成 30 年度報告書: 23-26, 2019。

### 6 学内教育活動

- 1) 臨床医学概論
- 2) 病理学
- 3) 感染症学
- 4) 病態生理学
- 5) 疾病と治療 I
- 6) 内科学 I、II
- 7) 人体構造機能疾病
- 8) 病態生理学（大学院）

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 衛生委員会委員
- 2) 時間割編成ワーキング委員
- 3) 実習センター運営委員会委員
- 4) 入学式実行委員

### 8 社会貢献

- 1) 日本保健福祉学会実行委員

### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費助成事業 基盤研究(C)、ウェイトリフティング選手のバーベル挙上などの運動中の心拍出量と心仕事量の検討、松本晃裕，福田平，長浜尚史，池川繁樹、4,290,000 円（配分額 200,000 円）（2016 年 4 月 - 2019 年 3 月）。

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 A（協働研究）助成金、医学的検査・生活活動力測定及び栄養調査等に関する調査研究、松尾祐子，五味郁子，渡部月子，福田平、490,600 円（2018 年 4 月 - 2019 年 3 月）。

## 松尾 祐子

### 3 その他の著作

- 1) 松尾祐子. 階段の昇降に伴う上下方向への重心移動について－29年度と30年度の比較－平成30年度「高齢者における健康維持増進のための総合的追跡研究」報告書 2019: 27-31
- 2) 岩崎俊晴、松尾祐子. 運動習慣のある高齢者における内臓脂肪とメタボリック症候群関連検査との関連 1. 運動習慣のある高齢者における内臓脂肪の実態調査 2. 運動習慣のある高齢者における甲状腺機能と内臓脂肪及びメタボリック症候群関連指標との関連

### 6 学内教育活動

- 1) 体のしくみⅠ（看護学科1年 前期）
- 2) 生理学Ⅰ（リハビリテーション学科1年 後期）
- 3) 生理学Ⅱ（リハビリテーション学科1年 前期）
- 4) 生体機能学（栄養学科1年 後期）
- 5) 生理学実習（リハビリテーション学科2年 前期）
- 6) 生体機能学実験（栄養学科2年 前期）
- 7) 文献検索とクリティーク（リハビリテーション学科1年 後期）
- 8) 心電図実習（看護学科1年）
- 9) 解剖見学実習（看護学科1年）

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 図書委員会
- 2) 人権倫理委員会
- 3) 研究助成選考専門部会

### 8 社会貢献

- 1) ボランティア活動（老人介護施設 クロスハート金沢、介護老人保健施設 千の星よこはま）

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 「高齢者における疫学的健康調査」平成30年度公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 研究助成A 469,380円
- 2) 「高齢者における血液検査およびメタボリック症候群関連調査」平成30年度地域貢献研究センター研究助成 296,760円

## 城川 美佳（大学院研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) Takami M., Tsuchida A., Takamori A., Aoki S., Ito M., Kigawa M., Kawakami C., Hirahara F., Hamazaki k., Inadera H., Ito S., and the Japan Environment & Children's Study (JECS) Group. (2018). Effects of physical activity during pregnancy on preterm delivery and mode of delivery: The Japan Environment and Children's Study, birth cohort study. PLOS ONE. doi.org/10.1371/journal.pone.0206160.

### 4 学会等での活動

- 1) 城川美佳、畑中高子、山本妙子、大島憲子、小河原格也、生田倫子、杉山みち子、金龍哲。(2018). 本学学生における地域貢献活動への参加状況. 平成 30 年度研究報告会, 横須賀市.
- 2) 城川美佳(2018). 地域中小規模の介護関連事業所における個人情報の取扱いの課題. 平成 30 年度研究報告会, 横須賀市.
- 3) 城川美佳, 人見祐(2018). 地域中小規模の介護関連事業所における個人情報の取扱いの課題. 第 77 回日本公衆衛生学会総会, 郡山市.
- 4) 奥野雅美, 土田暁子, 高守史子, 城川美佳, 浜崎 景, 稲寺秀邦(2018). 3 歳児健診を活用したエコチル調査富山ユニット センターにおけるフォローアップの検討. 第 77 回日本公衆衛生学会総会, 郡山市
- 5) 土田暁子, 奥野雅美, 高守史子, 城川美佳, 浜崎 景, 稲寺秀邦(2018). エコチル調査における富山ユニットセンターの 3 歳児健診会場での 質問票回収活動. 第 77 回日本公衆衛生学会総会, 郡山市
- 6) 中山健夫, 城川美佳, 人見祐 (2018). [自由集会]県外避難者支援活動を通して考えるこれからの健康支援. 第 77 回日本公衆衛生学会総会, 郡山市
- 7) 宮澤純子, 城川美佳(2018). 在日外国人女性の妊娠期の支援に関する文献レビュー, 文化や制度の違いに関する情報提供の内容に注目して. 第 83 回日本健康学会, 前橋市
- 8) 笠松春花, 土田暁子, 松村健太, 城川美佳, 浜崎景, 稲寺秀邦(2019). エコチル調査における富山ユニットセンターの工夫 3: 未記入箇所問い合わせの実施. 第 89 回日本衛生学会学術総会, 名古屋市

### 5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本公衆衛生学会 代議員 2018 年 4 月～2019 年 3 月
- 2) 日本健康学会 編集委員 2018 年 4 月～2019 年 3 月
- 3) 特定非営利活動法人 訪問看護ステーションコスモス 理事 2018 年 5 月～2019 年 3 月

## 6 学内教育活動

- 1) 学部学生の担当講義「統計学」「文献検索とクリティーク」で使用する文献および新聞記事を検索、検討し、講義資料として作成した [2018年4月～2019年1月]
- 2) 学部学生の担当講義「公衆衛生学」で使用する視聴覚教材を作成した [2018年10月～2019年1月]
- 3) 学部学生を対象とした「社会調査と疫学」の科目責任者を担当し、また疫学の講義を担当した [2018年4月～8月]
- 4) 学部学生1年生を対象とした「保健医療福祉論Ⅰ」において、『医』の役割、『保健』の役割の講義を担当した [2018年4月]
- 5) 学部栄養学科1年生を対象とした「公衆衛生学」において疫学の講義を担当した [2018年11月]
- 6) 大学院前期課程の院生を対象とした「研究法Ⅰ」の講義を担当した [2018年4月～8月]
- 7) 大学院での担当講義「研究法Ⅱ」で使用するSPSSによる統計解析のための資料を作成した [2018年4月～8月]
- 8) Super Science High Schoolの本学担当教員として、横須賀高校生徒の研究「高校生における感染症」の指導にあたった [2018年4月～2019年2月]

## 7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会 副委員長 2018年4月～2019年3月
- 2) 進路支援ワーキンググループ WG長 2018年4月～2019年3月
- 3) 地域貢献研究センター 研究支援部門 自己評価委員 2018年4月～2019年3月

## 8 社会貢献

- 1) 在日外国人を対象とした健康相談会に参加した [2018年4月～2019年3月]
- 2) 路上生活者を対象とした健康相談会に参加した [2018年4月～2019年3月]
- 3) 東日本大震災によって県外避難を余儀なくされた主に福島県双相地区住民への支援活動に参加した [2018年4月～2019年3月]
- 4) 埼玉県川越市における地域包括ケア推進に関する会議に参加した [2018年4月～2019年3月]

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 学内助成 (B) : 「ネパールの高校生を対象とした、結核予防に関する知識普及のためのカリキュラムの検討」
- 2) 学長推薦研究費 : 「他国出身母子におけるヘルスリテラシーの検討」
- 3) 海外研修助成「アジア諸国への学校保健教育の普及のあり方とアジア諸外国における学校保健教育の実施状況」

## 佐竹 弘行（大学院研究科兼務）

### 4 学会等での活動

- 1) **佐竹弘行**, 「大環状化合物と蛍光性小分子を用いる生体関連物質の簡便かつ選択的な蛍光検出に関する検討」, 日本薬学会 第 139 年会 (千葉), 2019 年 3 月

### 6 学内教育活動

- 1) 化学概論 (全学科対象, 前期, **科目責任者**)
- 2) 基礎有機化学① (栄養学科対象, 前期, **科目責任者**)
- 3) 基礎有機化学② (栄養学科以外の学科対象, 前期, **科目責任者**)
- 4) 基礎有機化学実験① (栄養学科対象, 前期, **科目責任者**)
- 5) 基礎有機化学実験② (栄養学科以外の学科対象, 前期集中, **科目責任者**)
- 6) 保健医療福祉論 I (全学科対象, 前期および前期集中, 現場訪問の事前指導等を担当)
- 7) 文献検索とクリティーク (社会福祉学科 (A クラス) 対象, 後期, クリティーク部分を担当)
- 8) 英語 (保健医療福祉のための英語 II) ① (看護学科 (A クラス) 対象, 後期, **科目責任者**)
- 9) 英語 (保健医療福祉のための英語 II) ② (看護学科 (B クラス) 対象, 後期, **科目責任者**)
- 10) 英語 (保健医療福祉のための英語 II) ⑥ (リハビリテーション学科対象, 後期, **科目責任者**)
- 11) 物理学 (全学科対象, 後期, **科目責任者**)

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 (高等学校教職員向け説明会での対応, その他入試に関する業務等) (通年)
- 2) 研究委員会 (**委員長**, 神奈川県立保健福祉大学誌 (2019 年第 16 巻第 1 号) の一部編集等) (通年)

### 9 講演, 放送

- 1) **佐竹弘行**, 「スルホカリックスアレーン類と蛍光性認識試薬を利用する、水中での簡便かつ選択的な化学物質の検出に関する検討」, 平成 30 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会, 2018 年 7 月

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 平成 30 年度研究助成事業研究助成 B (奨励研究) **佐竹弘行**, 津田学「水中における簡便な高選択的生体関連分子検出法の開発に関する研究」(364,231 円) (2018 年 4 月～2019 年 3 月)

#### 14 その他

- 1) 平成 30 年度卒業式・修了式会場係
- 2) 平成 30 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会における座長を担当（2018 年 7 月）
- 3) 平成 30 年度オープンキャンパスにおける人間総合科の紹介教室の担当（2018 年 8 月）



## 高橋 和子

### 1 著書

- 1) 高橋和子、日本薬学英语研究会（共著）「English for Student Pharmacists 2 薬学生のための英語 2」、成美堂、2018

### 3 その他の著作

- 1) 高橋和子、村上明美、中村丁次「オーストラリアニューカッスル大学との研究・教育に関する連携協定締結：協定締結への経緯およびニューカッスル大学の現状に関する報告」神奈川県立保健福祉大学誌 第16巻、2019

### 4 学会等での活動

- 1) 第47回日本免疫学会(12月、福岡)発表「Treatment with anti-CD11b antibody ameliorates arthritis in a novel arthritis-prone mouse model」OHTSUJI Mareki, LIN Qingshun, AMANO Hirofumi, YAGITA Hideo, TAKAHASHI Kazuko, OKAZAKI Hieki, NISHIMURA Hiroyuki, HIROSE Sachiko
- 2) 第62回日本リウマチ学会(4月、東京)発表「抗CD11b抗体投与によるFcγRIIB欠損マウスに自然発症する関節炎の抑制効果」大辻希樹、林青順、天野浩文、八木田秀雄、高橋和子、岡崎英規、西村裕之、広瀬幸子

### 6 学内教育活動

- 1) 英会話 I (x4クラス。看護学科、栄養学科、リハビリテーション学科、社会福祉学科)
- 2) 英語講読 (看護学科)
- 3) 保健医療福祉のための英語 I (栄養学科)
- 4) 保健医療福祉のための英語 II (x3クラス。栄養学科、社会福祉学科)
- 5) 免疫学 (栄養学科)
- 6) 文献検索とクリティーク (看護学科)
- 7) 保健医療福祉論 I
- 8) 横須賀米海軍病院見学プログラム

### 7 学内各種委員会活動

- 1) 国際協働専門部会部門長。学部・大学院生を対象とした横須賀米海軍病院見学プログラムを企画、実施(9月、2月)
- 2) 英語担当教員責任者

### 8 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学医学部英語非常勤講師
- 2) 慶應義塾大学薬学研究科大学院非常勤講師

## 9 講演

- 1) 神奈川県「第14回ヒューマンサービス公開講座」講師(10月20日)
- 2) 日本大学 私立大学研究ブランディング事業シンポジウム「スポーツ日大によるアンチ・ドーピング教育研究拠点確立とポストオリンピックへの展開」「医療系学部における英語教育」講師(10月7日)